

ごあいさつ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第100期(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)の事業報告をご高覧いただきにあたりましてご挨拶申し上げます。

平成15年4月より「分社化・持株会社制」へ移行し、純粹持株会社となった当社は6月に「委員会等設置会社」へと移行いたしました。さらに、8月にミノルタ株式会社と株式交換により経営統合を行い、10月には両社がそれぞれ営んでいた事業の再編、統合を行うなど、1年の間に3つの大変大きな経営改革を実行いたしました。

「分社化・持株会社制」と「委員会等設置会社」の2つの制度を同時に採用している企業は日本の中ではまだ少数ですが、私はグループの企業価値を高め、経営の透明性と公正性を一層高めるためには最も適した企業形態であると考えております。グループ各社一丸となってスピードをあげて事業統合を進めた結果、当期中に国内および海外のほとんどの関係会社の再編・統合を完了し、商品面においても新製品の投入を機会に「コニカミノルタ」の統合ブランドをつけたデジタルカメラやカラー複写機など、順次発売を開始いたしました。

平成16年3月には、「事業ポートフォリオ経営の実践」と「統合効果の早期具現化と人材融和の推進」を重点課題とした「統合中期経営計画(04-06)」を策定いたしました。その目標達成に向けてスピード経営を実践してまいります。

経営統合プログラムは順調に進んでおりますが、私は、統合の成否は「人」にあると考えております。平成16年度は統合の基盤整備期と位置づけ新しい組織風土をつくり、人の融合を促進し一刻も早く真の統合を完了し、将来の飛躍につながるよう、経営トップとして社員を強力に引っ張ってまいります。

グループの経営資源を成長分野の事業へ最適配分すると同時に、提携や事業の再編等を推進してより強固な収益基盤を擁する企業グループを目指し、企業価値を高めることで株主の皆様のご期待に応えてまいりたいと存じます。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成16年6月

代表執行役社長
岩居 文雄